

折に触れ 四字熟語

NO. 270 〔魑魅魍魎〕 ちみ もうりょう

< 意味 > 人に害を与える化け物の総称。また、私欲のために悪たくみをする者のたとえ。

< 出典 > 『春秋左氏伝』宣公三年

表 言 : 魑魅魍魎のやから

用 例 : このおびただしい、異常児達を目前にすると、まるで、魑魅魍魎に包囲されてしまったような恐怖に襲われる。<檀一雄・火宅の人>

語 釈 : 「魑魅」は山林の気か生じる山の化け物。「魍魎」は山川の気から生じる水の化け物。

一 言 : 9月12日付けの goo 辞書四字熟語のランクで1位になっていました。9月7日秋本衆議院議員が洋上風力発電事業をめぐる汚職事件で逮捕されました。私欲のために悪たくみをした事件で、それが反映したのでしょうか。

参照文献 : 岩波書店「四字熟語辞典」